

かがくはんのう つか かがみ つく
化学反応を使って鏡を作ろう
(対象：小学生)



しゃしんたて かがみ へんしん こうこうせい おこな かがくじっけん
写真立てが鏡に変身！？高校生が行うような化学実験で
てづくりの鏡を作ってみよう！！

つくりかた

もくてき はいけい
1. 目的・背景など

「普段使っている鏡はどうやって作られているんだろう…？」実は鏡はガラスに銀の薄い膜をはって作られています。銀といえばネックレスやブレスレットなどに使われている金属です。銀をガラスにはるときに使われているのは『銀鏡反応』という化学反応なのです！普段使えないような薬品を使ってオリジナルな鏡を作ろう！

ほうほう
2. 方法

ざいりょう
＜材料＞

- ・写真立て
- ・アンモニア性硝酸銀水溶液 50 ミリリットル
- ・ホルマリン 0.4 ミリリットル
- ・ビニールテープ
- (・手袋 (手荒れ、汚れの防止))

つくかた
＜作り方＞

1. アンモニア性硝酸銀水溶液 50 ミリリットルをガラスの入ったトレーに入れる。
2. ホルマリンをトレー全体に入れて、軽く振り混ぜる。
3. 10分間静かに置いておく。
4. トレーの液をすてて、物干しにつるして乾燥機にかける。
5. 銀がついている面にテープをはって完成！

かんせい
3. 完成

どうして鏡ができるの？

「どうしてこんなことがおこるのか？」そう思うことが大切です。鏡が出来上がるまでの時間で一緒に考えてみましょう！

たんとうきょういんしょうかい
4. 担当教員紹介



医薬品工学科 2 年生